

ぶんかざいまるちなび

No.42

文化財 知ナビ

このニュースレターは、「文化財に親しむ機会の提供に関する事業」の一つとして、身近な文化財情報をはじめ、文化財を活用した事業などの紹介を行っています。
ぜひ学校教育や生涯学習の場で広くご活用ください。

ぶんかざい
コレも文化財？

私たちの周りには、伝統的な建物や美術工芸品、音楽、遺跡、貴重な動植物、年中行事などたくさんの文化財があります。

その中から、銃砲刀剣類、北海道犬をご紹介します。

銃砲刀剣類

銃砲や刀剣類は法律で所持することが原則として禁止されていますが、「美術品若しくは骨董品として価値のある火縄式銃砲等の古式銃砲又は美術品として価値のある刀剣類」として都道府県教育委員会で登録されたものは所持することができます。

北海道教育委員会では、美術的に価値のある銃砲刀剣類を正しく後世に伝えるため、年4回、登録審査会を実施し、登録を行っています。



登録審査会の様子

北海道犬



北海道犬

学術的に価値が高い動物や植物などは、国や北海道から天然記念物に指定され、保護されています。

天然記念物の動物というと、タンチョウやクマガラ、オオワシやオジロワシといった野生の動物を思い浮かべるかもしれませんが、私たちの身近にいるイヌやニワトリにも天然記念物に指定されているものがあります。

イヌでは、北海道犬、秋田犬、柴犬など7犬種が、それぞれの地域で昔から飼われていたイヌの姿をよく残していることから天然記念物に指定されています。

姥神大神宮渡御祭

「姥神大神宮渡御祭」は、道南にある江差町で毎年8月9日から11日の3日間に開催され、北海道三大祭りのひとつといわれている有名なお祭りです。

平成31年3月に、お祭りで初めて北海道の無形民俗文化財に指定されました。

江差町の人口は約8,000人ですが、祭りの期間は3万人ものひとが江差町に集まり、町は大賑わいになります。

このお祭りは、370年も前から町の人たちにより受け継がれてきたと言われていて、当時、江差町でたくさん獲れたニシンという魚の豊漁を祝って行われたものです。

お祭りでは、4基のおみこしの行列が町中を回って巡行し、その後ろを13台の山車の行列がお供をします。

「山車」という言葉は初めて聞く人も多いでしょうが、ほかの地域では「ダシ」と呼ばれることもあります。



《山車の行列》

※山車は大人も子どもも一緒に引きます



《夜の神社の前に山車が集まった様子》



《おみこしの行列》



《山車のひとつ「源氏山」》

大人も子どもも、江差町の人たちはみんなお祭りがある夏が来るの楽しみにしています。

このお祭りは、これからも町の人たちによって大切に受け継がれていくことでしょう。